

## 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金交付対象事業別概要

計画主体名	計画期間
ほくと市 北斗市	平成24年度～平成25年度

<連絡先>

担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
農林課	0138-77-8811	0138-77-9825	sawaguchi.norivuki@city.hokuto.hokkaido.jp

【記入要領】

計画主体名

- ・市町村名にはふりがなをふること
- ・共同で作成する場合は、すべての計画主体を掲げるとともに、代表となる計画主体には(代表)と記載する。

計画期間

- ・計画期間は活性化計画の計画期間を記入すること。

連絡先

- ・共同計画の場合は行を追加し、全ての計画主体の連絡先を記入すること。

メールアドレス

- ・当該交付金に係る連絡に利用できるメールアドレスを記入すること。

## I 事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標	増加率等	増加率等の算出
	交流人口の増加	

事業活用活性化計画目標の設定根拠

毎年実施される「観光入込客数調査」により、計画区域外からの入込客数を把握し達成状況の検証を行う。  
 隣接地区の「男爵記念館」が改修整備されたことにより、平成19年度は平成18年度に比べ6,700人の増加となり、平成20年度の65,700人がピークでその後減少傾向となっている。減少傾向に危機感を持った地域住民が入込客数を増やしたいと、平成24年度より地域資源を活かした集客イベントを計画している。  
 入込客数の増加により、優れた農山漁村景観及び生活環境を有していることをPRし定住人口の増加を図りたい。

現況		計画	
年度	入込客数	年度	入込客数
平成19年度	63,940	平成24年度	60,000
平成20年度	65,700	平成25年度	61,000
平成21年度	59,150	平成26年度	63,000
平成22年度	58,498	平成27年度	64,000
平成23年度	58,112	平成28年度	65,000
計	305,400	計	313,000

事業活用活性化計画目標	増加率等	増加率等の算出
	定住人口の確保	

事業活用活性化計画目標の設定根拠

北斗市の住民基本台帳より毎年人口動態調査を行っており、調査をもとに達成状況の確認を行う。  
 現況については、住民基本台帳より月別の人口動態を集計し年度毎とした。  
 計画については、過去2力年の転出数が少なくなっているが、地域の高齢化率の高さ及び地域内に高齢者施設がないこと等から転出数は徐々に増加すると考えられる。  
 一方転入者数は過去5力年増加傾向であり、交流人口の増加を図り優れた農山漁村景観及び生活環境をPRすることにより、転入人口は若干ではあるが増加すると考えられる。

現況				計画			
年度	転入	転出	転出入割合	年度	転入	転出	転出入割合
平成19年度	3	7	42.86%	平成24年度	5	5	100.00%
平成20年度	4	6	66.67%	平成25年度	5	5	100.00%
平成21年度	6	10	60.00%	平成26年度	5	6	83.33%
平成22年度	5	4	125.00%	平成27年度	6	6	100.00%
平成23年度	7	4	175.00%	平成28年度	6	7	85.71%
計	25	31	80.65%	計	27	29	93.10%

## II 活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標と交付対象事業の関連性

事業メニュー名	地区名	事業内容	事業規模等	実施期間	事業実施主体	全体事業費 (千円)	交付金要 額 (千円)	基本 国費率	交付限度額 (千円)	活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性
飲雑用水施設	三ツ石地区	飲雑用水施設	機械電気計装 設備 一式	H24～H25	北斗市	19,000	10,450	5.5/10	10,450	地区の重要なライフラインである飲雑用水施設であるが、施設の老朽化などにより安全・安心・安定的な飲料水の確保が困難になってきている。地区は優良な農山漁村景観を有しており、地域間交流の促進により、交流人口の増加及び定住化を図りたい。
景観・生態系保全整備	三ツ石地区	植樹・緑化(芝生)	植樹(サクラ) 70本 張芝 A=200㎡	H24～H25	北斗市	1,000	550	5.5/10	450	優れた農山漁村景観を持つ地域であるが、農道沿いに設置されている飲雑用水施設(取水・配水施設)の敷地内は芝生が野草化し景観を阻害しているため、桜の植樹及び張芝による緑化を行うことにより景観の保全を図り、地域間交流の促進・交流人口の増加及び定住化を図りたい。
合 計										

## 【記入要領】

- 必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。
- 創意工夫発揮事業である場合は、事業内容の欄に一体として行う事業メニュー名及び一体的に行う必要性について併せて記載すること。
- 事業メニューには、実施要領の別表の事業メニュー名を記入すること。
- 地区名には、事業の実施地区名を記入すること。
- 事業内容は、整備しようとする具体的な施設の内容を記載すること。
- 事業規模は、施設毎の棟数と床面積、農道や森林管理道等の場合は地区名と延長など、それぞれの事業内容に応じた事業規模を記載すること。
- 実施期間は、原則として3年以内とすること。
- 活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性は、これら目標を達成する上で、各々の事業の実施が必要な理由を記載すること。

## 【添付資料】

(別添)融資主体型支援助成対象者調査書



